

ハウス内には春の開花を待ちわびる花苗が並ぶ―5日午前9時半



## 胆振 春の息吹

きょう5日は二十四節気の一つ「啓蟄」。土の中で眠る虫が冬ごもりを終えて目覚めることを意味する。室蘭市神代町の「花ファクトリーあけぼの」のビニールハウスでは、春に見ごろを迎えるアリッサムやクリサンセマムの苗が青々とじゅうたん状に広がっていた。早いものは、つぼみの状態となり開花を待ちわびている。

室蘭地方気象台によると、胆振管内各地の午前8時現在の最低気温は、室蘭で平年より4・3度高い1・3度、登別は氷点

下0・6度で平年より5・4度高くなった。白老は平年より6・6度高い0・5度、伊達市は1・5度（平年値データなし）と各地で平年より高く4月上旬から中旬並みとなった。

あす6日の室蘭は、寒冷前線が通過する影響で寒気が上空に入り最高気温氷点下1度、最低気温同4度、曇りのち晴れの予報。朝方にかけて雨や雪が降ることもあり、同気象台は路面の凍結による交通障害などに注意を呼び掛けている。

（浪越崇宏）